

令和3年6月定例会議一般質問事項表

部署

番号	質問者	質問事項
1	松本ゆき子	<p>(1) 学童クラブについて</p> <p>待機児童解消のため、今年度、若葉第2学童クラブの新設工事が始まり、来年の4月から開設されるので、とてもうれしく思っている。そこで、以下質問する。</p> <p>① 今年度の各学童クラブの入会状況と待機児童数、児童館特例利用者数は。</p> <p>② 現状の学童クラブ数のままでは、児童の遊びと安全は保たれない。今後、新設や他施設を利用するなどして学童クラブを設ける具体的な計画はあるのか。</p> <p>③ 遊びの充実を考えたときに、事故を恐れ禁止事項が多くなったりしてはいないのか。また、現状の遊びのルールは。</p> <p>(2) 歩道の改修について</p> <p>秋川駅北口ロータリーの歩道は、エレベーター設置時に改修されたが、30メートル道路の歩道は、改修されないままである。雨が降ればとても滑りやすく転倒する人がいるので、早急に安心して通行できる歩道に改修してほしいが、計画予定はあるのか伺う。</p>
2	堀江 武史	<p>(1) 武蔵引田駅北口土地区画整理事業について</p> <p>地区内では着々と各工事が進み、待ち望んでいた移転家屋の新築工事が始まった。地元に出向くと、来年度の移転計画に向けて、機運が高まっていることを実感する。そこで、以下質問する。</p> <p>① 令和2年12月議会で、地区内居住者の家屋移転をできる限り当初の計画に即し、当初の目途である令和7年度末の完了に向けて、事業を進めるとの答弁をいただいたが、この考えに相違はないか。</p> <p>② 駅前を中心としたまちづくりをどのように考えているのか。</p>
3	臼井 建	<p>(1) 内部統制について</p> <p>平成29年6月の地方自治法の改正により、地方公共団体は内部統制についての方針の策定などが求められることになった。同年9月の市議会定例会議で、私は、当市において、職員の不適正事務処理や業務上のトラブルを防ぎ、住民からの信頼を得るためにも、今後、内部統制について検討することを求めた。また、東京都は昨年、内部統制基本方針を策定した。そこで、以下質問する。</p> <p>① 地方自治体における内部統制とは、住民の福祉の増進を図ることを基本とする組織目的が達成されるよう、行政サービスの提供等の事務を執行する主体である市長自らが、組織目的の達成を阻害する事務上の要因をリスクとして識別、評価し、対応策を講じる</p>

番号	質問者	質問事項
		<p>ことで、事務の適正な執行を確保することであると考える。市は内部統制をどのように考えているのか。</p> <p>② 現在までの検討状況は。</p> <p>③ 今後、どのように取り組んでいくのか。</p> <p>(2) 秋川ファーマーズセンターについて</p> <p>秋川ファーマーズセンターの建て替えについて、現状と課題、今後の市としての取組を伺う。</p>
4	たばたあずみ	<p>(1) 子宮頸がん予防ワクチン接種勧奨について</p> <p>子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）は、がんの中でも唯一予防が可能ながんワクチンとして認可され、あきる野市議会でも全会一致で国の助成を求める意見書を提出し、接種の勧奨が行われた。しかし、直後に重篤な副反応が相次いで報告され、2013年6月の厚生労働省の通知により積極的な勧奨はしない方針となっていた。ところが、厚生労働省は昨年秋から同ワクチンの宣伝リーフレットを配布するよう、自治体に求め始めている。このことについて、以下質問する。</p> <p>① これまで市内での子宮頸がん予防ワクチンの副反応について把握はされているのか。</p> <p>② 現在、市は接種勧奨について、どのような対応を取っているのか。</p> <p>③ 対象者は小学校6年生から高校1年生相当の児童・生徒である。子宮頸がん予防ワクチンや子宮頸がんについて教育課程では、どのような扱いをしているのか。</p> <p>④ 子宮頸がんの年代別検診受診率は。また、受診の呼びかけは、どのように行っているのか。</p>
5	田中千代子	<p>(1) 観光振興について</p> <p>本年3月定例会議一般質問において、令和3年度の施政方針で示された観光振興への取組として、マイクロツーリズムに着目した誘客について質問した。その際、東京都もサテライトオフィス等のテレワークを推進し、エリアとして西多摩地域に光を当てており企業のニーズも高い。市としても宿泊施設などの受入環境、支援制度の在り方、新たな施策としての有効性等を検証していきたいとの答弁であった。その後の東京都の動向や市の推進状況について伺う。</p> <p>(2) 「生理の貧困」対策について</p> <p>金銭的な理由で生理用品を買えない「生理の貧困」が問題になっており、コロナ禍ではさらに収入が減り社会問題として報じられている。我が公明会派は、本年3月の予算特別委員会で生理用品の無償配布などを提案し、同月23日には村木市長に対し「コロナ禍における女性の負担軽減に関する緊急要望」を提出し「生理の貧困」への支援を求めてきた。過日、本市では、東京都の備蓄品を活用して、生理用品の無償配布を実施している。そこで、以下伺う。</p>

番号	質問者	質問事項
		<p>① 子ども家庭支援センター、生活福祉課、市立小・中学校保健室で配布されているが、それぞれの配布状況は。</p> <p>② 本市の「生理の貧困」に対する今後の考えは。</p>
6	増崎俊宏	<p>(1) 公園の管理について</p> <p>公園には、レクリエーション機能としての役割のほかに、都市環境保全機能や防災機能としての役割があると思う。市内には、多くの都市公園等が存在するが、公園内のごみの清掃、植木の剪定など、公園緑地に関する管理をどのように行っているのか、現状の取組を伺う。</p> <p>(2) 歯科健診等について</p> <p>市では、乳幼児の歯と口の健康を守るために、歯科健診・フッ素塗布をあきる野保健相談所で行っているが、保護者からは歯科健診時にフッ素塗布も同日に実施できないかとの声がある。歯科健診等の現状の取組と課題について伺う。</p>
7	山根トミ江	<p>(1) 公共交通の充実について</p> <p>高齢化が進む中で公共交通の充実は待ったなしの課題である。早期の充実を求め、以下質問する。</p> <p>① 公共交通空白地域の一つとなっている草花折立区域における実証実験が行われ、地域住民に大変喜ばれている。また、引田・淵上・代継地域も今後の実証実験についての検討が行われている。交通空白地域における公共交通について、いつ頃までに結論を出していく予定か。また、今後の方向性は。</p> <p>② 公共交通空白地域に指定されている地域以外にも、交通不便地域がたくさんある。こうした地域の交通不便対策の方針は。</p> <p>③ るのバスの増発・増便について、交通空白地域と同時並行して実証実験を行うことが確認されている。検討委員会での議論を含め、今後の方向性は。</p> <p>(2) 永田橋周辺の安全対策について</p> <p>① 永田橋から西へ向かう歩道の拡幅工事について、今後の見通しについて伺う。</p> <p>② 永田橋から西へ向かう交差点に右折信号を設置するよう関係機関に働きかけていただきたいが、いかがか。</p>
8	辻よし子	<p>(1) 外国人介護人材受入支援事業について</p> <p>第8期あきる野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画における老人福祉施設の新設の是非を巡って、論点の一つとなったのが介護人材不足の問題である。大規模な施設を新設すれば在宅介護を含め、市内の介護人材不足がより深刻化することが懸念される。それに対して市では介護人材を確保する方策の一つとして外国人材の活用を掲げ、本年度の新規事業として外国人介護人材受入支援事業補助金170万円を計上した。本事業に関連して、以下伺う。</p>

番号	質問者	質問事項
		<p>① 市内の高齢者介護事業所における外国人職員の採用状況は。</p> <p>② 補助金の対象を技能実習に絞った理由は。</p> <p>③ 市として外国人材の受入れを推進するのであれば、外国人を単なる労働力として捉えるのではなく、同じ地域社会で共に暮らす住民と考え、多文化共生施策も併せて進める必要があると考えるが、市の見解は。</p> <p>(2) 新組織における汚水処理整備の進め方について 汚水処理整備については、整備の効率性と費用対効果、受益者負担の公平性、将来的な財政見通し等、複数の課題を総合的に勘案し、今後の方針を決めるべきと考える。今年度から浄化槽関係の部署と下水道係が一つの課に統合されたが、今後の汚水処理整備における課題の整理と解決策の検討をどのように進めていくつもりか、短期的及び中長期的見通しを伺う。</p> <p>(3) 武蔵引田駅北口土地区画整理事業における補助金の減額について 本年度、国及び東京都からの補助金が申請額の約半分2億6千万円余り削減されたことは、本事業にとって深刻な事態である。そこで、以下伺う。</p> <p>① 補助金減額の要因及び来年度以降の補助金の見通しは。</p> <p>② 地権者に対し、本年度の補助金減額について、どのように説明したのか。</p> <p>③ 補助金減額に対する市の対処方針は。</p>
9	子籠敏人	<p>(1) あきる野市観光推進プランについて 本市では、あるきたくなる街あきる野を目指した観光業の振興を掲げ、あきる野市観光推進プラン「あきる野ふるさとプラン」に基づく施策や事業を展開している。コロナ禍の現状では、人の流れの抑制等に配慮し、観光施策を積極的に展開しがたいとは思いますが、地域の活性化には、本市の魅力、強みである自然環境などの観光資源を最大限に生かす必要があると考えている。そこで、以下伺う。</p> <p>① 総合計画の改訂に併せ、今年度、現行の観光推進プランも見直すことになると思うが、見直しに際してのポイントは、どのあたりにあると考えているのか。</p> <p>② 市内産業の状況を見ると、これまでになかったジャンルの店舗の出店や魅力的な商品開発など、新たな動きが出てきているように感じる。例えば、増戸地区では、新たな商品開発に取り組む老舗に加え、養蜂やブドウの栽培など、今後、さらなる商品開発、特産品につながる取組も活発になってきている。そのような動きを後押しする意味合いからも、新たな観光推進プランの中に位置づけることができないか。</p> <p>(2) ケアラー支援について ヤングケアラーという言葉も最近よく耳にするが、本市のケアラー支援の現状は、どうなっているのか。また、ヤングケアラーへの支援も含</p>

番号	質問者	質問事項
		<p>め、今後のさらなる支援策を求めるが、市の見解を伺う。</p> <p>(3) 災害時応援協定について 災害時の応援協定について、ドラッグストアとの締結なども考えてはどうかと考えるが、今後の協定拡大も含め、市の見解を伺う。</p> <p>(4) 消防団の待遇改善について 総務省消防庁は昨年末に「消防団員の処遇等に関する検討会」を立ち上げ、今春には中間報告をまとめて、待遇の改善策を全国の自治体へ通知するなど議論を活発化させている。これに対する本市の今後について伺う。</p>
10	窪島成一	<p>(1) 都市計画道路の整備状況について 秋多都市計画道路3・3・9号線の氷沢橋交差点から秋川ファーマーズセンター前までの開通については、長年の懸案事項であり、令和2年3月定例会議をはじめ、過去、何度か質問している。この路線が開通することにより、新たなネットワークが形成され、生活利便性の向上及び地域住民の交通安全の確保などの観点からも、地域住民は早期開通を望んでいる。そこで、懸案となっている草花大橋の交通開放に向けた進捗状況について伺う。</p> <p>(2) コロナ禍における生涯学習事業について 新型コロナウイルスの感染拡大によって、これまで数度にわたり、国から緊急事態宣言が発出され、東京都の要請や本市の感染症対策本部の決定によって、公共施設の臨時休館や市主催事業の中止などが行われてきた。このような状況の中で、生涯学習事業は、計画どおり実施ができていない状況となっている。そこで、以下質問する。</p> <p>① 令和3年度の生涯学習事業の実施予定は。 ② 今後、コロナ禍での事業実施について、どのように考えているのか。</p>
11	ひはら省吾	<p>(1) 子どもが安心して遊べる場所の確保について 本市は自然豊かで、子育ても非常にしやすい環境であると、自信を持って言える市であると考えます。しかし、地域によっては、子どもが安心して遊べる公園が少ないという声も聞こえてくる。そこで、以下質問する。</p> <p>① 市所有の遊休地の現状は。 ② 安心して子どもが遊べる公園について、市の見解は。 ③ 都立秋留台公園の遊具などの充実について、市に要望等はあるのか。</p>
12	大久保昌代	<p>(1) 草・葉の処分方法とごみ袋の考え方について 本市では、木の枝などは無料で回収しているものの、草・葉などの処分には有料ごみ袋が必要である。しかし、戸建て住宅の割合が高く、広い庭も多い本市では、有料ごみ袋で出さなければならず負担感があるとの声が市民から寄せられている。草・葉の堆肥化の推進などはしているが、高齢化に伴い、市民に寄り添ったさらなる取組が求められている。</p>

番号	質問者	質問事項
		<p>他の自治体では、草・葉は無料で回収したり、堆肥化に取り組んでいるところもある。そこで、他市の状況や本市の取組について、以下伺う。</p> <p>① 多摩26市の草・葉の処分方法と処分費用の現状は。</p> <p>② あきる野市一般廃棄物処理基本計画に基づく、草・葉の処分についての考えと今後の課題は。</p> <p>(2) 町内会・自治会が設置するAED（自動体外式除細動器）について</p> <p>本市では、これまで大切な命を守るAEDの設置・普及に努めてきた。助成金などを活用し、町内会・自治会の多くにAEDが設置されている。設置の際、維持・管理費については、町内会・自治会が負担することが前提だったが、実際のところ、何らかの助成を求める要望が出されていると聞く。AEDの維持管理の助成については、2017年9月の一般質問でも取り上げたが、再度、助成金などを活用した取組などができないか、市の考えを伺う。</p>
13	中嶋博幸	<p>(1) 台風災害の復旧工事の進捗状況について</p> <p>これから雨季を迎えるが、台風第19号による災害の復旧工事がまだ終わっていない現場が複数ある。それぞれの進捗状況を伺う。</p>
14	中村一広	<p>(1) 消防団活動について</p> <p>① 4月から新体制となったが、現在の消防団員の人員、退団者数及び新入団員数について伺う。また、今後の団員の確保策はどのように進めていくのか。</p> <p>② 2年に1度のあきる野市操法大会が中止となり、消防団活動も例年のような訓練ができていないと思うが、今後どのように訓練等を行っていくのか。</p> <p>③ 消防団には火災だけでなく、台風や豪雨の自然災害等にも対応してもらっている。現在の水防資機材等は充足しているのか、市の見解を伺う。</p>
15	村野栄一	<p>(1) 東秋留駅の南側広場計画について</p> <p>東秋留駅自由通路設置及び駅舎改良基本計画策定調査が平成16年に議会で報告された。その後の進捗状況について、以下伺う。</p> <p>① 現在の東秋留駅利用者数及び南側・北側の利用割合は。</p> <p>② 駐輪場の利用状況は。</p> <p>③ 計画書の作成に当たっての経過、その後の進捗及び費用は。</p> <p>(2) 公共交通網の充実について</p> <p>公共交通を検討する上で、交通網の充実を検討していると思うが、そこで、以下伺う。</p> <p>① JR五日市線は、朝夕以外は便数が減り、不便になったという声が多いが、市はどのように捉えているのか。</p> <p>② H. U. グループホールディングスが開業するに当たり、JR五日市線はどのくらいの乗車が見込まれるのか。</p>

番号	質問者	質問事項
		③ 東秋留駅にはタクシー以外の公共交通の乗り入れがないが、その理由は。
16	中村のりひと	<p>(1) 公共交通について</p> <p>① 引田・湧上・代継地域での実証実験の予定について伺う。</p> <p>② 都道169号線の拡幅によって、るのバスのルート変更が可能になると思うが、国道411号線接続までの拡幅進捗状況及び完了の予定について伺う。</p> <p>(2) 公園について</p> <p>プレイパークのように火が使えたり、キャッチボールができたり、ポータブルゲーム機専用のテーブルや椅子があったり、高齢者がゆっくり語らう東屋がいくつもあるなど、公園の目的やルールを子どもや大人も混ぜた地域住民のワークショップ等によって作るべきと考える。いろいろなことができない公園からいろいろなことができる公園へみんなで考えることを提案するが、いかがか。</p> <p>(3) 自治体DXについて</p> <p>様々な手続を電子化することで行かなくてもよい市役所になるよう、電子申請で行える手続を計画的に増やすことを提案するが、いかがか。</p>
17	合川 哲夫	<p>(1) 下菅生橋の現状と今後の工事予定について</p> <p>5月に損壊した鯉川に架かるこの橋は、菅生地区の表玄関口で、大変重要な橋である。国道に架かる鯉川橋と一体的に設計する必要があると思うが、国道のため、大変難しい協議が必要となるのではないかと考えている。市には、どのような考えがあるのか伺う。</p> <p>(2) 再犯防止推進について</p> <p>まずは、地方再犯防止推進基本計画の策定が必要になってくると思う。市は、どのように考えているのか伺う。</p>
18	清水 晃	<p>(1) 農業振興と鳥獣被害対策について</p> <p>① 令和元年度以降の捕獲頭数と農作物の被害額について伺う。</p> <p>② 令和元年度以降の対策と予算執行額について伺う。</p> <p>③ 今後の被害防止策について伺う。</p> <p>(2) ハザードマップについて</p> <p>ハザードマップの見直しの予定はあるのか伺う。</p> <p>(3) 橋の架け替えについて</p> <p>① 網代橋の今後の見直しについて伺う。</p> <p>② 下菅生橋の今後の見直しについて伺う。</p>
		18人 36件